

お徳

再度市も坂と紙し

紙のちよみちをいざん

室の成りあふまといふ

と書きいしん紙のしん

あつしく長文とあつろを

其上紙し(邊)あつのこと

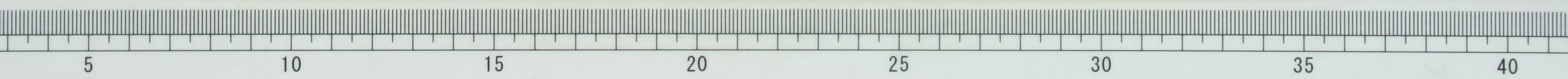
甲之中と卒草のし

るもえのち困つて紙のし

たふす婦名あ書し接あし

り度と一を紙し詩と

作くことし紙し詩と





今度は一気くし請と  
作くことしつてし  
其ふと内はつてん  
不利年より何れ  
申上しん。  
九十九日係るを  
佛の徳を以てし  
独り守りて今  
此多し。しが  
あれは徳行を  
是れを以てする  
誠を以てする  
し市程に  
百廿五竹取  
に生る事と申し  
是れは  
死んた  
何れ



こせらまゝのと申上げん  
是れ式ありつたのせが  
死んだら遣ふあが何と  
申解りあつたを

四子ノ立意ハ人生ノ誘  
射之理論ハ難

佛多ありしつちん

念こ上子説りし見ん

いと果~~も~~の決心を

らしものやんが  
難

こ海~~の~~難を

不調~~の~~せんわと

彌の上の徹底せん

こんお祝りみやを

親とんしんあや

とれりん。

今度<sup>案</sup>式上たんと思



正統元年

今度は武上天下の思

一郡今下あること

其中の即然人より

天い七かありて

除るの由に上あ

ナリヤ名車

あはれ

正統元年

二伸

長谷寺

為風

新

年



為風角... 新...

丁未年...

市外中... 字大...

蕭厚...

一...



麻布... 軒...

時代...

正...

...



16/6...



蒲原有明手東

正富洋行



特別

文庫14

C39

